

アカシア探検隊

2021 (冬)

～スポーツドクター
潜入の巻～

65回 重野 陽一 氏
～しげの整形外科
スポーツクリニック～



広島のスपोर्टスドクターとしてご活躍されている重野さんを訪ねて、2020年10月コロナ禍の中、感染防止に最善をつくり緊張感を持ちつつ、廿日市市のクリニックを訪問させていただきました。

陰山：今日は宜しくお願い致します。まず、附属時代のお話をお伺いしたいと思います。

重野: 私は小・中・高の12年間、広大附属の自由な校風を当たり前として育ちました。中でも中学のバレーボール漬けの3年間は自分の人生を大きく変えたと思います。1年で入部した時から、当時3年生だった陰山秀明先輩(63回)をはじめとした優しい先輩方に育てられ、高身長者が揃った同学年の有能なバレー班員にも恵まれ、2年次新人戦で広島市優勝、3年次にはチームのキャプテンとなり広島県西部地区大会で優勝、全国大会県予選では1回戦で優勝校安佐中学校(のちに全日本選手となるスター軍団)に惜敗したものの、広島市総体では準優勝という結果を残し、『バレー王国広島』の中で、広大附属中学がバレーボール強豪校として注目されるようになりました。腰痛のために欠場した広島市総体決勝経験を経て、第5腰椎分離症の治療が始まり、進級後入部した高校バレー班も腰痛を理由に退部した苦い経験は、後に私が整形外科スポーツドクターとなり、広島県バレーボール協会に恩返しする礎となったと思って

います。

陰：退部せざるを得ない状況で、葛藤はありましたか？

重: 本当は続けたかった。チームのメンバーに見つからないように、体育館の隅からよく練習を観ていましたね。バレーボールへの思いは捨てきれなかったです。

陰:腰痛に見舞われなかったら、別の世界があったでしょうね。高校卒業後は整形外科医を目指されたのですか？

重：2浪して防衛医大に進学しました。医師たる幹部自衛官を育てる目的で新設されて3年目の大学に4期生として入学しました。卒業生では坪井良治先輩(63回)が1期生としておられ、私は「アカシア」の2人目でした。医大生とはいえ特別職国家公務員の立場になり、学費・生活費はすべて無償の上、月額4万円余の給与まで頂きました。私の時代は男子校で6年間全寮制。いわゆる幹部候補生の学校のため、学生寮も大学敷地内にあり、1日24時間規律に縛られる6年間を送りました。朝6：30に起床ラッパで起き5分以内にベッドを整え寮の外で点呼(上半身裸の頃もありました)、掃除と朝食を済ませて8：00に朝礼、国旗掲揚の後、学年ごと(学生隊ごと)に隊列を組んで教場(教室)へ移動。医学教育については一般の国立大医学部の教育内容と同じでしたが、教育を受ける場や生活をする場が自衛隊敷地内でのことですので、ピリピリとした規律正しい学生生活を送りました。

学業は、レベルの高い医学教育を叩き込まれました。ここを卒業出来れば医師国家試験は十分に合格できるレベルでした。学業が終わると、有事のための身体作りを目的としたスポーツ活動がありました。ここは、医大ではなく体育大学かと思うほどのスポーツ現場・環境。指導者には元オリンピック選手もおられ、私が「ウェイトトレーニング」で指導を受けたのは、重量上げのオリンピック三宅義行選手



P r o f i l e

1975年:広島大学附属高等学校卒業(65回) 1983年:防衛医科大学校医学科卒業
1985年:大阪大学医学部整形外科入局
1987年:国立呉病院整形外科 1990年:英国ロバートジョーンズ・アグネスハント整形外科病院 1995年:大阪大学医学部より医学博士の学位を授与
1998年:医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院 2004年:しげの整形外科スポーツクリニック開院
2006年:医療法人社団 重野クリニック 理事長 2011年:一般財団法人 広島県バレーボール協会 会長 2016年:公益財団法人 広島県体育協会 副会長

でした。「トレーニング」を基本から勉強し、体験したことは私のその後の仕事に大きく影響を与えました。部活は1年から5年までバレーボール部に属しましたが、関東学連リーグに入り(当時医歯薬リーグや東医体リーグには強すぎて入れてもらえませんでした)最下位の15部からスタートし、入れ替え戦を重ねて5年次には13部まで昇格しました。学生の本分としての教育を受けると同時に、体づくりも半端なく徹底して出来たことで、物心両面に充実していました。

振り返ると私にはこの環境がとても合っていたような気がします。真面目にやれっ!て事で。高校時代は授業をさぼって、塀を超えて遊びに出ていたもんです(笑)。今でも附属の同級生に会うとその話が出ます。この大学は先程述べたように厳しい規律の下にあります。「医師になる、体を鍛える、防衛に寄与する、つまり国を守る」と

www.naganuma.co.jp

確かな技術で
Next
株式会社長沼電業社

長沼 毅(61回)



長沼商事株式会社

鳴川 貴大(99回)



 八千代工業株式会社

水鏡ファーム 可部植物工場

広島県広島市安佐北区可部1-1-4
TEL: 082-516-7103 FAX: 082-815-1798

スプラウトにんにくって何？

水鏡ファームでは可部の地下水と酸素の力を利用し、にんにくの芽も根も丸ごと食べられる、今話題のスーパーフードを独自の製法で手間ひまかけて栽培しています。

広島県内百貨店、スーパーにて販売中！
↓↓取扱い店舗詳細に関してはコチラ↓↓



Instagram



大藪 盛生 (86回)

いう使命の中、邪念を捨て学んだ事が今となつては本当に全てに有難かつたとつくづく感じています。

陰: 防衛医大時代、一つの転機を迎えられましたね？

重: はい。防衛医大卒業生は、卒後2年間の研修医(インターン)修業を当時は稀であった今でいうスーパーローテート(全科研修)で送り、総合臨床医となることを目指すこととなっています。しかし私は、この頃から毎日の研修修業後に時間を作って、入学当時から興味があった整形外科学教室の研究室に通い、ラットを使った実験や試験管を振る研究生活も送っていました。2年間の研修医生活の後、どうしても自分の研究テーマに時間を費やしたいという興味が勝ってしまい、防衛医大の卒業生修業課程からはずれ、卒後9年間の防衛庁在職義務年限の修了を待たずに防衛庁を退職、一般医大生が卒業して歩む卒後研修生活に途中から編入することにしました。防衛医大卒業後2年間しか在職義務年限を果たしていなかったもので、1770万円余の償還金を国庫へ払い込んでの退職でした。

大阪大学医学部整形外科学教室に入局させて頂き、2年間は大学病院・関連病院で勤務しながら昼は整形外科医師として勤務、夜は阪大医学部の研究室で深夜まで研究をするという充実した(?)生活を送りました。昭和62(1987)年4月に父親が肺癌で余命半年の宣告を受けたため、阪大関連病院のうち最西端の国立呉病院へ赴任。同院へ父親を迎え、看病しながら整形外科医師として勤務。同年10月に結婚し、結婚式の6日後に父親が他界しました。

陰: その後イギリスに留学されました。その時代のお話をお聞かせ下さい。

重: 国立呉病院整形外科勤務2年の時、在籍休職して海外留学が出来ることを知り、平成2(1990)年7月からイギリスにあるロバートジョーンズ・アグネス

ハント整形外科病院ヘレジデントフェロー(臨床研修医)として勤務することになりました。同院は、100年以上の歴史を持つイギリス整形外科発祥の病院と言われ、整形外科創設時の著名医ワトソン・ジョーンズ卿やジョン・チャンレー卿らが研鑽した病院です。日本からも過去に18人の医師が留学した歴史があり、自分は19人目。過去に留学した医師のうち7割以上が日本の大学病院整形外科学教室の教授になっています。

この整形外科病院での生活は、赴任3日目から患者を受け持ち、1週間目からは整形外科外来診療をこなし、夜間救急当直にも就くという英語初心者の自分にとってはかなりハードな臨床医生活でした。お陰で半年後にはコミュニケーションの苦労はなくなり、1年後には学会でのスピーチが出来るようになりました。日本でいう大学病院での研修システムの何倍もの臨床経験が積める規模の整形外科病院でした。

そのような中、病院勤務の合間に時間を作って、患者データを収集して研究論文を作成し発表までこぎ着けました。平成4(1992)年6月病院内の学会発表で、「ペルテス病」に関する論文が病院のゴールドメダルを受賞しました。また、バイオメカニクス分野の教育研修コースの最終試験で最高得点を獲得し、ゴードンローズプライズ(首席賞)を受賞しました。これらの受賞により、世界でも著名なワトソン・ジョーンズ卿やジョン・チャンレー卿らの名前と共に、同病院の臨床大講堂の壁に日本人で初めて自分の名前が刻まれるという名誉を頂きました。

陰: 医学の分野でも素晴らしい成果をあげられましたね。「ペルテス病」とはどんな病ですか？

重: 小児の股関節、大腿骨頭に血行障害が発生し骨頭壊死を生じ、股関節に痛みを来す病気です。就学前後の4～8歳が好発年齢で男児に多く、骨の



変形という後遺症を残してしまいます。

陰: 故郷広島に帰られて、医師の傍らバレーボールも再開されましたね。

重: 医師になって、昭和62(1987)年6月広島へ帰郷した際、赴任した国立呉病院のバレー部からの誘いでバレーボール活動を再開。選手として、国家公務員共済組合のバレーボール大会に出場し活躍しました。同時に、同院看護学校バレー部のコーチ・監督も務めました。2年間のイギリス留学を挟んでの帰国、国立呉病院復帰後も、同院バレー部に所属し、また同院看護学校バレー部の監督も再び務めました。平成6(1994)年第12回アジア大会で、スポーツドクターとして呉市開催のバレーボール大会の支援をした際、呉市バレーボール協会の鷹橋照子会長との御縁を頂き、広島県バレーボール協会に入会しました。平成10(1998)年4月医療法人社団おると会浜脇整形外科病院へ診療部長として勤務しましたが、同会の理事に、広島県バレーボール協会河野徳男名誉会長とバレーボール女子大野石油オイラーズの大野輝夫会長が在任されており、平成12(2000)年頃より大野石油女子バレー部オイラーズのチームドクターをさせて頂きました。河野名誉会長と大野会長の兩人に加えて、公益財団法人広島県体育協会副会長であった浜脇純一院長よりの強い御推薦を得て、平成19(2007)年より広



あなたもぐっとずっと。クラブに入会しませんか？

中国電力 会員制WEBサイト

おかげさまで **ぐっとずっと。クラブ**

会員100万突破!

中国電力アカシア会
宮本 伸一(70回卒) 他
会員一同